

経済産業省・文部科学省 委託事業

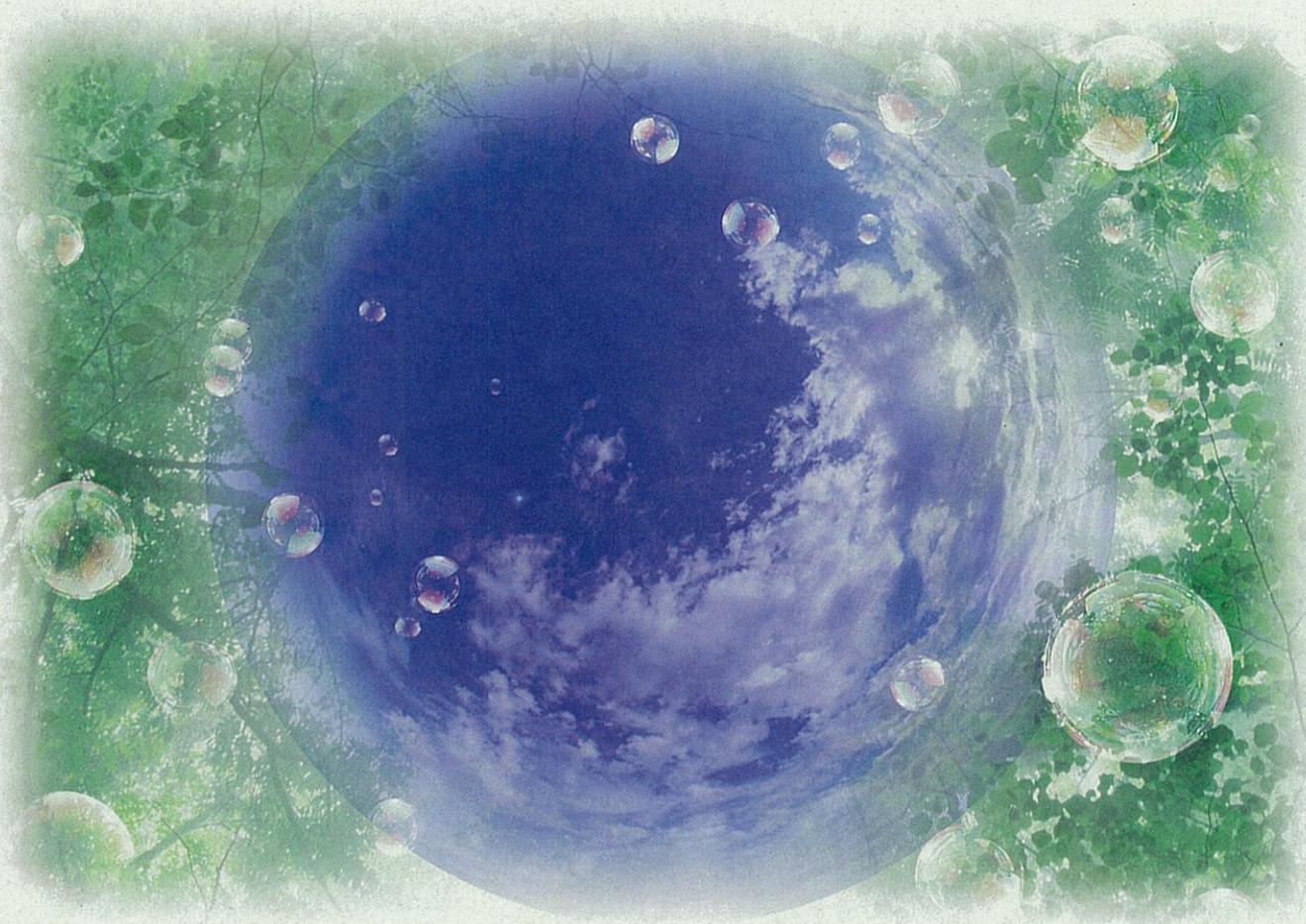
アジア人財資金構想 「高度専門留学生育成事業」

◆群馬大学プログラム◆

地域に根ざし、地球規模で考える「先進・高度ものづくりリーダーの育成」

平成19年度～平成22年度（4年度間採択事業）

群馬大学 取組状況紹介パンフレット



2010(平成22)年11月



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

アジア人財資金構想

近年、我が国企業のアジア等を中心とした海外事業展開の加速に伴い、日本とアジア等の架け橋となる高度海外人材の育成が重要となってきている状況

世界的に高度人材の国際移動が拡大する中、国際的な知的ネットワークの形成等により、国際競争力の強化が重要となってきている状況

【平成19年度から平成22年度まで】

これらの状況を踏まえ

経済産業省と文部科学省が実施

我が国企業に就職意志のある、能力・意欲の高いアジア等の留学生に対し、奨学金や人材育成から就職支援までの一連の事業を通じ、産業界で活躍する専門イノベーション人材の育成を促進する。

※経済産業省=事業にかかる「事業費」や「人件費」等を支援。 文部科学省=国費外国人留学生奨学金の支援。
アジア人財資金構想プロジェクトサポートセンターHP <http://www.ajinzai-sc.jp/>

群馬大学では、平成19年度から平成22年度までの4年度間にわたり事業採択され取り組んでいる。

高度専門留学生育成事業

企業ニーズに即した产学連携による専門教育や、ビジネス日本語教育・日本ビジネス教育、インターンシップ、就職支援等、必要な知識や技能に関する教育を行う特別なプログラムを実施する、大学を主体とした産業界等と連携した取組事業

群馬大学での取組内容等

群馬大学工学部・アジア人財資金構想 HP
<http://www.tech.gunma-u.ac.jp/AsianProject/index.html>

★プログラムの目的★

群馬大学と群馬県内地域の地場企業を中心にコンソーシアムを組み、国際競争が激化している自動車関連等の製造業において、ものづくりの現場で技術者を管理し、様々なプロジェクトを統括できる幅広い知識を備えたリーダー人材の育成をめざす。このために大学とコンソーシアム企業が共同して魅力的なカリキュラムを開発し、留学生が大学在学中に、教育、研究、研修を受けられる仕組みを構築する。

★人材育成の目標★

高度な専門知識やマネジメント能力を生かし、地域を中心とした日本のものづくり企業、あるいはその海外事業所・工場において、技術マネージャーとして指導的な役割を担い、日本とアジアの橋渡し役として活躍する人材を育成する。

★プログラム内容（平成22年度状況）★

先進・高度ものづくりリーダー育成プログラム

（平成22年度カリキュラム全体像）

◎群馬大学専門科目（工学基礎、1単位） 90分×8回

- 1. 技術者資格の国際認定と技術者教育
- 2. 工業力学
- 3. 機械加工入門
- 4. 電気工学入門
- 5. 材料力学入門
- 6. 反応工学入門
- 7. エンジンの仕組み
- 8. 計測の基礎

※群馬大学の教員による講義

群馬大学の教員によるオムニバス形式の講義で、ものづくりリーダーが知っておくべき工学の各分野にわたる共通の基礎知識の理解を目指す。留学生向けに英和対照の教科書シリーズを作成・活用する。（平成19年度は、「熱力学」、「内燃機関」、「流体力学」、平成20年度は、「電気電子回路」、「工業力学」、平成21年度は、「機械加工」をそれぞれ刊行。また、「材料力学」、「反応工学」、「計測法」の3冊については平成22年度に作成・活用予定。）これら英和対照教科書は、工学テキストとしては初めての試みであり、アジア人財留学生のみならず日本留学に意欲を示す海外学生、海外留学を目指す日本人学生にも好評となっている。

◎コンソーシアム連携科目（生産と管理、1単位） 90分×6回、180分×1回

- 1. 技術者倫理・企業倫理
- 2. 地球環境と企業活動
- 3. 製品開発戦略
- 4. 品質管理・生産管理
- 5. 知的財産活動
- 6. 新規社員の導入教育
- 7. 工場見学とビジネス実習（1回180分）

※専門教育プログラム講師による講義

ものづくりの現場で、技術者・技能者を管理できる幅広い知識を備えたリーダーを育成するための講義を実施。コンソーシアム参加企業5社（ミツバ（株）、日本電産サーボ（株）、サンデン（株）、小倉クラッチ（株）、富士重工業（株））から招聘する専門教育プログラム講師が中心となり、就業現場の実情に則した講義を行い、ものづくりリーダーが持つ高度技術者と高度管理者の側面に欠かせない知識や方法論を、現場での事例を踏まえて学ぶ。なお、平成22年度は「生産と管理」に関する英和対照教科書を作成し、授業等での活用を予定している。

◎ビジネス日本語教育（5単位） 90分×15回/1コース

- 1. ビジネス会話入門
- 2. 実践ロジカルライティング入門
- 3. ビジネス読解・聴解入門
- 4. 実践パブリックスピーキング入門

※左記に加えビジネス日本事情1科目、レベル別の中級日本語9科目（総合、会話、作文など）を設置

様々なビジネス場面において日本語を使いこなす能力を身につけさせるために、4つのビジネス日本語クラス（①ビジネス会話入門、②実践ロジカルライティング入門、③ビジネス読解・聴解入門、④実践パブリックスピーキング入門）と底上げのための中級日本語クラスを開講し、講義を行う。

◎日本ビジネス教育（1単位） 90分/1科目

- 1. ビジネスマナー①
- 2. ビジネスマナー②
- 3. 日本企業の風土
- 4. 問題解決能力講座①
- 5. 問題解決能力講座②
- 6. 問題解決能力講座③
- 7. 企業特別リレー講座①
- 8. 企業特別リレー講座②
- 9. 企業特別リレー講座③
- 10. 企業特別リレー講座④
- 11. 企業特別リレー講座⑤

※日本ビジネス教育講師による講義

日本企業に就職する際の基本的なビジネスルールや日本企業の仕組み等の理解を促進し、問題解決能力を養えるような内容の教育プログラムを開発し、講義を実施する。コンソーシアム参加企業等からの日本ビジネス教育講師を配置して実施する。平成22年度は「技術ビジネス」に関する英和対照教科書を作成し、授業等での活用を予定している。

◎就職支援講座（1単位） 90分/1科目

- 1. エントリーシートの書き方
- 2. 就職面接の心構え
- 3. 就職体験報告①
- 4. 就職体験報告②
- 個別就職相談会（随時実施）

日本での就職活動についてのノウハウ提供（エントリーシートの書き方、就職面接の心構え等）を行っている。

※生活や就職に関してアドバイスを行うキャリアコンサルタントを配置し、留学生採用に意欲のある企業の開拓を行うとともに、留学生の個別サポートを実施している。さらに就職報告会を開催し、報告書を作成、留学生や企業関係者などに配布している。

◎インターンシップ（1単位又は2単位）

インターンシップ実施企業一覧

平成19年度	（株）石田製作所
平成20年度	（株）ミツバ、（株）両毛システムズ （株）東洋測器研究所桐生工場 出光興産（株）石炭・環境研究所
平成21年度	（株）ミツバ、（株）ウエノテクニカ 富士重工業（株）、桐生市役所
平成22年度	（株）ミツバ、日本電産サーボ（株） （株）両毛システムズ、（株）ウエノテクニカ （株）山田製作所、サンデン（株） NTT、（社）日本機械学会

プロジェクト参加企業と連携し、製造業の現場を実地体験するインターンシップ（原則として2週間）を実施する。

★実施組織（全体）★

コンソーシアム

◆管理法人

国立大学法人群馬大学

プロジェクトリーダー

群馬大学工学研究科 教授

宝田 恒之

サブリーダー

群馬大学 特任教授 名誉教授

小保方 富夫

群馬大学工学研究科長

板橋 英之

群馬大学国際教育・研究センター講師

俵山 雄司

専門プログラム開発マネージャー

株式会社ミツバ経営企画部 部長

秋山 力

◆プログラム実施機関

再委託を伴わない実施機関

●株式会社ミツバ

●群馬県中小企業団体中央会

●国立大学法人群馬大学 工学部・大学院工学研究科

※管理法人とプログラム実施機関を兼ねる。

◆プロジェクト参加企業 16社4団体

(株)ミツバ 日本電産サーボ(株)

サンデン(株)

小倉クラッチ(株)

富士重工業(株)

(株)山田製作所 三洋電機(株)

(株)オギハラ

(株)宮津製作所

矢島工業(株)

しげる工業(株) 群馬電機(株)

東邦工業(株)

(株)正田製作所

澤藤電機(株)

(株)砂永樹脂製作所 NPO法人北関東産官学研究会

社団法人日本自動車部品工業会

群馬県中小企業団体中央会

群馬県産業経済局・群馬産業支援機構

★本プログラムの成果など★

●留学生向け英和対照の教科書シリーズ、「熱力学」、「流体力学」、「内燃機関」、「電気電子回路」、「工業力学」、「機械加工」、「材料力学」、「計測法」、「反応工学」、「生産と管理」、「技術ビジネス」を学内本として印刷、一部は出版社から市販し、アジア人財の留学生に限らず、広く留学生一般、日本人学生、海外学生・技術者向けの教科書としている。

●平成22年3月16日(火)、本プロジェクトの中間報告会を開催した。これは平成19年度に発足してから3年が経過し、平成22年度に最終年度を迎えるにあたり、従来の成果を地域の企業と自治体・各種団体及び群馬大学内に周知すると同時にプロジェクトの自立に向けての協力をお願いすることを目的としたものである。

群馬大学工学部・アジア人財資金構想HP http://www.tech.gunma-u.ac.jp/AsianProject/News/News20100316_01R.html



平成22年3月16日 中間報告会を開催

開会に当たり高田学長㊨が挨拶とともに、宝田プロジェクトリーダー㊧からは、今までの取組状況等の概要説明が行われた。企業、団体、教員、留学生ら多数参加して有意義な報告会となった。

留学生向けに作成した英和対照教科書

●地域企業との人材育成に関する意見交換が進み、留学生を含めた積極的な相互交流に発展している。本プログラムのように、全てにおいて地元企業と密接な討論を重ね、プログラムを実行した例はなく、緊密で重要なネットワークが構築されたと評価している。これは国内だけでなく、海外の協力企業との連携にも効果が出ている。

●同窓会（群馬大学工業会）組織とも連携した活動が開始され、同窓会の中国支部の開設に伴い、留学生・卒業生のネットワークが構築され、留学生募集について多くの成果が得られている。今後の大学の発展には同窓会組織との協力関係が大切であり、この海外発展に貢献できたと認識している。

●留学生募集に關係し、国際交流協定校へのメールニュースの配信を開始した。これにより、多数の国の姉妹校との連携が密になり、留学生募集に効果があった。本プログラムは具体的な奨学金支給のある連携で、大変に有効で魅力のあるプロジェクトであり、国際交流協定校の増加に対しても大きく貢献している。さらに、アジア人財留学生の募集で海外大学を訪問し、群馬大学を紹介した結果、外国人学生数の増につながった。

●NPO法人北関東産官学研究会の多大な支援により、財団法人日本国際教育支援協会の冠奨学金「群馬大学ものづくり人財育成HiKaLo奨学金」が設立され、平成22年4月入学学生の採用が決定（1名）した。これは私費留学生獲得の第一歩となり、自立化に向けた大きな前進となった。

★プログラム参加留学生の概要・就職先★

No	採用年度	月	国籍	性別	学科・専攻	出身大学	就職先等
1	平成19年度(5名)	10	ベトナム	M	機械システム工学科	ハノイ工科大学	日本電産サークル(株)
2		10	中国	M	電気電子工学専攻	宇都宮大学	富士通(株)
3		10	中国	F	情報工学専攻	天津大学	(株)両毛システムズ
4		10	中国	M	情報工学専攻	上海商学院、足利工業大学(中退)	(株)日立製作所
5		10	ベトナム	M	生産工学専攻	ハノイ工科大学(大学院)	ハノイ工科大学教員
6	平成20年度(10名)	4	ベトナム	M	機械システム工学科	ハノイ工科大学	日本電産サークル(株)
7		4	ベトナム	M	機械システム工学専攻	バッコア工科大学	(株)ミツバ
8		4	中国	M	機械システム工学専攻	大連理工大学(大学院)	第一汽車自動車技術センター(中国)
9		10	中国	M	機械システム工学専攻	中国農業大学	旭テック(株) 内定
10		10	ベトナム	M	生産システム工学専攻	ハノイ工科大学	日本電産サークル 内定
11		10	中国	M	機械システム工学専攻	上海交通大学	
12		10	中国	M	機械システム工学専攻	大連理工大学	
13		10	中国	M	電子情報工学領域	群馬大学大学院工学研究科	富士通(株)
14		10	中国	F	情報工学専攻	群馬大学大学院工学研究科	日立情報システムズ(株)
15		10	インドネシア	M	電気電子工学専攻	群馬大学大学院工学研究科	日本電産サークル(株)
16	平成21年度(12名)	4	ベトナム	M	機械システム工学科	ハノイ工科大学	
17		4	中国	M	生産システム工学専攻	海南大学	サンデン(株) 内定
18		4	タイ	M	情報工学専攻	キングモンクット工科大学 ラカバン校	パナソニックAVCネットワークス社 内定
19		4	中国	M	機械システム工学専攻	大連理工大学	(株)山田製作所 内定
20		4	中国	F	環境創生工学領域	内蒙古工業大学、群馬大学大学院	
21		4	中国	M	電子情報工学領域	群馬大学、群馬大学大学院	
22		10	中国	F	生産システム工学専攻	大連理工大学	
23		10	中国	M	機械システム工学専攻	大連工業大学	
24		10	タイ	M	電気電子工学専攻	キングモンクット工科大学 ラカバン校	
25		10	ベトナム	M	機械システム工学専攻	ホーチミン市工科大学	
26		10	ベトナム	M	電気電子工学専攻	ダナン百科大学	
27		10	中国	M	機械システム工学専攻	海南大学	
28	平成22年度(5名)	4	中国	F	機械システム工学科	大連理工大学	
29		4	インドネシア	M	電気電子工学科	職業能力開発総合大学校	
30		4	ベトナム	M	機械システム工学科	ハノイ工科大学	※10月から私費留学に変更
31		4	中国	F	生産システム工学科	大連理工大学	
32		4	中国	F	生産システム工学科	大連理工大学	※私費留学、Hikalo奨学生

★今後の取組と展開★

本事業は、平成22年度が最終年度であり今後の自立化をめざし、関係企業、地方自治体、各種団体を訪問し情報交換等を進め、産業界のニーズの把握に努めるとともに、学内支援体制を整備している。

ちなみに学内においては、工学部内に留学生育成事業自立化カリキュラムワーキング会議を設置して検討を行った。これは「日本語教育」、「企業心得」、及び「企業研修」を三本柱に置いてカリキュラムの原案を審議し、工学研究科長に答申した。同様にアジア人財コンソーシアム会議より、群馬大学グローバル人材育成基金(仮称)の提案が工学研究科長に提出された。これらは今後全学レベルで検討される予定である。

今後はさらに学内及びコンソーシアム企業・団体等、地域の企業と各種団体との連携を図りつつ、本プロジェクトを群馬大学として発展させていくこととしている。

★留学生（在学生・修了生）からのひと言メッセージ★



出身国 ベトナム

名 前 ドアン・ハイ・ドアンさん



私はベトナムの大学を卒業してMVTC（ミツバ・ベトナム・テクニカル・センター）に入社後、何回か日本の株式会社ミツバに研修に来ました。それをきっかけに、日本の文化や先進技術に興味を持ち始めたところ、平成20年にアジア人財プログラムへの応募のチャンスをいただき、日本留学のチャンスを掴むことができました。現在は、ベトナムの会社に戻り日本とベトナムの間の懸け橋として活躍できるよう頑張っています。

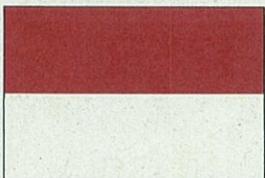
アジア人財プログラムの最も良い所は専門の授業以外に、日本語、就職活動のための講義が設けられていることです。先生方の指導は親切かつ熱心であり、どんな質問をしてもわかりやすく教えてくださいました。在学中は、カルチャーショックなど色々苦労がありました。しかし、「他の人が出来ることなら自分も必ずできるはずだ」という信念を持って努力することで、困難を乗り切り、無事2年間で終了することができました。

後輩の皆さんに伝えたいことは、2年間は短いので、時間を無駄にしないようにしてほしいということです。苦労もあると思いますが、苦労した末の成功は何よりも嬉しいものだと思います。



出身国 インドネシア

名 前 アクハマド・イスナエニさん



私は群馬大学大学院に入学した時、2年目に奨学金を受けることを目標にしていました。しかし、アジア人財プログラムのおかげで、幸いにも1年目から奨学金を受けることができました。このアジア人財プログラムに参加することで、学費や生活費の心配がなくなっただけでなく、自分のキャリアに役立つ様々なプログラムに参加することができました。専門の授業もあったのでとても忙しくなりましたが、新しい知識や体験を得られたことは自分の財産になりました。

在学中には勉強や就職活動中に関して悩むこともありましたが、プログラム参加中にできた先生方・企業の方・他の学生とのネットワークが、それを解消する助けになりました。みなさんは本当に感謝しています。

このプログラムを通じて、自ら目標を持って計画的に行動すること、人とのつながりを大切にすることなどを学びました。これから仕事を中でも、学んだことを生かしていきたいと思います。



出身国 中国

名前 蘭 炎琳 (ラン エンリン) さん



私は、ビジネスに関する教育、日本文化の体験、就職支援などの様々な支援内容に大きな魅力を感じ、「アジア人財資金構想」に応募しました。このプログラムに参加したことで、日本の風土や社会に対する理解はさらに深まりました。現在就職内定中ですが、今後の仕事にも非常に役立つと思います。

しかし、大学院（生産システム工学専攻）に入学した最初の頃はかなり大変でした。日本語にはまだ慣れていませんでしたし、専門も学部時代とは異なっていたからです。しかし、「人一倍努力すれば、乗り越えられない障害はない」と覚悟して常に自分にプレッシャーをかけて、頑張ってきました。勉強もそうですし、就職活動もそうです。どんな最悪な状況にあっても、諦めないで努力を続ければ道は開けると、私は信じています。

アジア人財の後輩たちも、目標を持って豊かな人生を送ってほしいと思います。



出身国 中国

名前 叢 奇 (ゴウキ) さん



子供の時から車に興味を持っていた私は、将来、車に関係する分野でエンジニアになるのが夢でした。車に関して高い技術力を持つ日本でエンジニアになるための勉強ができるアジア人財プログラムは、まさに私の夢をかなえるためのものでした。私は運良く試験に合格し、修士課程に入学することができました。

しかし、日本に来たばかりのときは本当に大変でした。私は中国でも日本語を学んでいましたが、それは日本で実際に生活を送るには十分ではなかったからです。例えば、研究室の日本人とのコミュニケーションもうまくできないし、授業はほとんど聞き取れませんでした。そこで、私は、日本語で話す時は、ことばに加えて手振りや身振りを使うようにしました。これでだいぶ自分の言いたいことを伝えることができました。また、授業の中で聞き取れない部分があれば、その前後のことばをメモしておいて、後で友達に尋ねました。このようにして私は周りの人たちに助けてもらいながら、さらに日本語を勉強し、実生活で使える日本語を身に付けることができました。

先日、幸いなことに自動車部品会社の内定を得て、自分の夢に向けて一步踏み出すことができました。

これからもアジア人財で学んだことを忘れず、自分の夢にこだわりをもって頑張っていきたいと思います。



定期的（年2回）に開催するアジア人財留学生とコンソーシアム企業担当者らとの懇談風景



平成21年12月1日 留学生就職報告会を開催

厳しい就職状況の中で内定を勝ち得た先輩留学生が熱心に就職活動を報告。後輩の留学生たちも真剣なまなざしで話を聞き、活発に質疑応答が行われた（毎年開催）。

平成22年9月11日 日本文化体験講習会「茶道」を開催

日本の伝統文化である「茶道」を身をもって体験する活動を通じて、日本の文化と伝統、風習を知り、日本への理解と愛着を深める良い機会としている（年4回開催）。他に桐生まつり、彦部屋敷茶会、工学祭等を通じ、一般市民や学生との交流を深める行事にも参加している。



《問い合わせ先等》

国立大学法人群馬大学 国際教育・研究センター、国際交流課

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

E-mail : g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

TEL 027-220-7625 FAX 027-220-7630

工学部ホームページ <http://www.tech.gunma-u.ac.jp/>

国際教育・研究センター <http://cier.aramaki.gunma-u.ac.jp/>

このパンフレットは、経済産業省・文部科学省「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業の委託費により作製。

リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。